



第7回統計教育シンポジウム

学校の算数・数学で学ぶ統計の“光と影”
～学びにくさ/教えにくさについて語ろう～

「統計は大事」「統計は便利」…それはわかっている。でも指導の勘所をイマイちつかみづらいのが、この統計。なかなか職場で聞きづらい統計の“光と影”について、参加者の皆さんと語り合い、聴き合い、一緒に整理しませんか？

日時 2024年3月17日(日) 10:00 ~ 12:20

参加費 無料 形式 Zoom (申込後に入室用URLからご参加いただきます。)

司会 大塚 みずほ (お茶の水女子大学附属中学校：お茶中)
久下谷 明 (お茶の水女子大学附属小学校：お茶小)
阿部 真由美 (お茶の水女子大学附属高等学校：お茶高)

プログラム

開会のご挨拶

加々美 勝久 (元お茶中副校長, 元お茶大准教授,
日本数学教育学会実践研究推進部長)

趣旨の説明

真島 秀行 (お茶大名誉教授,
日本学術会議連携会員)

こんな授業どう? 実践発表1

岡田 紘子 (お茶小)

データを活用した問題解決の学習
～生活場面の問題を解決するために～

こんな授業どう? 実践発表2

藤原 大樹 (お茶中)

生徒会ルールをよりよくしよう!
～箱ひげ図などを総合的に活用した学校改善～

こんな資料どう? 情報提供

三橋 一行 (お茶高)

統計の授業でこんなところがやりづらい!
～乗り越えるために必要なこと & 参考図書～

ともに語ろう! 学校種別分科会

学校種ごとにブレイクアウトルームに分かれ、当部会メンバーからの
提案(光と影の一覧表; 実践事例付き)をもとにして意見交換、情報交換をします。

- “光”: こんなときに使うといい! こんなよさがある! → こういう問題場面を設定すれば…!
- “影”: こう使うとマズイよね! コレ、教えにくい! → こうすれば“光”に変わる!

小学校

提案・進行 (お茶小)
: 岡田・久下谷・倉次

中学校

提案・進行 (お茶中)
: 大塚・藤原・松本

高校

提案・進行 (お茶高)
: 阿部・十九浦・三橋・松嶋

各分科会を終えて

閉会のご挨拶

吉田 裕亮 (お茶大教授, お茶高校長)

申込 (3/14(木)まで: 当日申込無し)

[こちら](#) or QRコード から 申込フォームへ

(お茶の水女子大学附属学校園に通う児童生徒及び参加者様の個人情報の取扱いに十分配慮して開催いたします。申込時には【参加規定】の同意と遵守をお願いいたします。)